

1. 科目名 (単位数)	心理学総論特論 (2単位)	3. 科目番号	PSMP6267
2. 授業担当教員	齋藤 瞳/新井 雅人/鎌田 依里/望月 宇/魏 孝棟/森一也/高橋 基起/蓮井 千恵子/三好 香次/三浦 亜紀	5. 開講学期	通年
4. 授業形態	講義、演習	履修形態 (通信教育)	S
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	臨床心理学及び臨床心理学的援助の背景にある広範な心理学領域について、多様な知識を体系的に学ぶ。また、臨床心理学的援助に必要な法律と社会的制度および実践活動における倫理についての理解を深め、実践活動に必要な考え方と視点を習得する。		
8. 学習目標	1. 心理学における全般的な知識を習得する。 2. 臨床心理学における心理面接、心理査定、地域援助、そして研究活動についての知識を学ぶ。 3. 臨床心理学的援助の実践活動に必要な法律および社会制度についての知識を習得する。 4. 心理臨床における実践と研究上の倫理について学ぶ。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	臨床心理学及び臨床心理学的援助に関する広範な心理学領域の事項を十分に習得する必要があるために、毎回の授業で確認テストを行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 日本臨床心理士資格認定協会 (監修) 『新・臨床心理士になるために[令和7年版]』誠信書房 2025 日本臨床心理士資格認定協会 (監修) 『新・臨床心理士になるために[令和8年版]』誠信書房 2026 (2026年夏頃 刊行予定)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 毎回の授業における授業目標習得度テストを通して、理解度を評価する。 ○評定の方法 毎回の授業目標習得度テストの合計 90% 授業への取り組み 10%		
12. 受講生へのメッセージ	臨床心理学の知識を幅広く身につけることが目的である。さまざまなテキストに手をつけると細部に深入りしてしまうため、授業にしっかりと参加し、授業で扱う内容に集中して取り組むこと。		
13. オフィスアワー	初回の授業において、各担当教員のオフィスアワーを伝える。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	オリエンテーション・学習の進め方、心理学概論①知覚		
	【学習の目標】知覚分野に関する心理学の全般的知識を身につける。 【学習の内容】心理学の基本として、知覚分野の主要な知識を確認し、人間がいかに外界の情報を処理しているか、その特徴ある情報処理の仕方を学ぶ。 【キーワード】知覚、錯視、認知、ゲシュタルトなど 【学習の課題】上記の概念について、問題を解きながら確認を行う。		
2. テーマ	心理学概論②学習・記憶		
	【学習の目標】学習・記憶分野に関する心理学の知識を身につける。 【学習の内容】心理学の基本として、学習、記憶分野の主要な知識を確認し、人間がいかに外界の情報を処理しているか、その特徴ある情報処理の仕方を学ぶ。そして、その特徴から、人の心ならではの働きというものを知り、将来臨床的な心理学を学ぶときに備える。 【キーワード】条件付け、短期記憶、長期記憶、作動記憶など 【学習の課題】上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。		
3. テーマ	心理学概論③発達		
	【学習の目標】発達分野に関する心理学の知識を身につける。 【学習の内容】心理学の基本として、発達分野の主要な知識を確認する。生涯発達の観点から、人間が生まれてから死ぬまでの発達課題やそれに伴う問題を押さえておく。 【キーワード】発達課題、乳幼児期、老年期、エリクソン、ピアジェなど 【学習の課題】上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。		
4. テーマ	心理学概論④欲求・感情		
	【学習の目標】欲求・感情分野に関する心理学の知識を身につける。 【学習の内容】心理学の基本として、欲求・感情分野の主要な知識を確認する。基本的な感情や欲求の特徴から、人の心ならではの働きというものを知り、将来臨床的な心理学を学ぶときに備える。 【キーワード】親和欲求、達成欲求、フラストレーション、感情、ジェームズズラング仮説など 【学習の課題】上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。		
5. テーマ	心理学概論⑤自己・集団		
	【学習の目標】自己・集団分野に関する心理学の知識を身につける。 【学習の内容】心理学の基本として、自己・集団分野の主要な知識を確認する。人間が自分や他者をどのようにとらえているかを初め、リーダーシップや同調行動などの集団社会における心理学的トピックをとりあげる。 【キーワード】自己意識、態度、マインドコントロール、社会的促進、同調行動、リーダーシップなど 【学習の課題】上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。		
6. テーマ	心理学概論⑥対人認知		
	【学習の目標】対人認知分野に関する心理学の知識を身につける。		

【学習の内容】	心理学の基本として、攻撃や援助といった対人関係もとりあげ、人の心ならではの働きというものを知り、将来臨床的な心理学を学ぶときに備える。
【キーワード】	援助、攻撃など
【学習の課題】	上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。
7. テーマ	心理学研究法①要因計画法
【学習の目標】	科学としての実証的研究法を学習する。
【学習の内容】	心理学の研究法について、要因計画法を学ぶ。
【キーワード】	実験計画、独立変数、従属変数、剰余変数の統制など
【学習の課題】	上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。
8. テーマ	心理学研究法②研究法
【学習の目標】	科学としての実証的研究法を学習する。
【学習の内容】	心理学の研究法について様々な心理学的実証法を学ぶ。
【キーワード】	調査法、観察法、検査法、面接法など
【学習の課題】	上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。
9. テーマ	心理統計法①統計的検定
【学習の目標】	心理統計法における統計的検定に関する知識を身につける。
【学習の内容】	臨床心理学の一要件として求められている統計法について学ぶ。特に、学生が各々の修士論文を作成するにあたり、必要となる統計の技術について、具体的に学ぶ。
【キーワード】	尺度水準、代表値、相関、テストの信頼性・妥当性、統計的検定など
【学習の課題】	上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。
10. テーマ	心理統計法②多変量解析
【学習の目標】	心理統計法における多変量解析に関する知識を身につける。
【学習の内容】	それぞれが多変量解析の手法について、その特色を知り、それぞれどのようなことを調べるのに応用できるかを知る。
【キーワード】	重回帰分析、主成分分析、因子分析、正準相関分析、判別分析など
【学習の課題】	上記に関する概念について、問題を解きながら確認を行う。
11. テーマ	臨床心理査定概説
【学習の目標】	臨床心理行為全般における臨床心理査定の意義や位置づけを学ぶ。
【学習の内容】	1. 主訴・問題歴・生育歴等の把握方法 2. 「見立て」を持って面接を進めることの意義 3. 面接・観察・調査の方法論
【キーワード】	臨床心理行為、臨床心理査定、査定面接、問題と個人史の把握
【学習の課題】	「ひと」を「全人的に理解しようとする」ということを理解する。主訴・問題歴・生育歴等の把握方法について考察する。面接者の態度や自分の面接者としての課題を知る。
12. テーマ	様々な臨床心理査定技法①
【学習の目標】	面接・観察・調査による臨床心理査定技法による技法を学ぶ。
【学習の内容】	調査・観察・面接に関する学習
【キーワード】	調査法、行動観察、面接査定、参加観察
【学習の課題】	臨床心理査定に当たって必要な技能である観察・面接・質問紙法の知識の確認をする。
13. テーマ	様々な臨床心理査定技法②
【学習の目標】	質問紙法・作業検査法による技法を学ぶ。
【学習の内容】	1. 質問紙法に関する学習 2. 作業検査法に関する学習
【キーワード】	調査法、行動観察、面接査定、参加観察、質問紙法、作業検査法
【学習の課題】	臨床心理学において代表的な質問紙法と作業検査法を概観する。
14. テーマ	投影法
【学習の目標】	書かれた事柄や描かれた事柄、語られたイメージなどから「ひと」を理解する技法について、理論、技法、解釈を学ぶ。
【学習の内容】	1. 投影法とは何かを学ぶ。 2. 書かれた事柄による人間理解の技法を学ぶ。 3. 描かれた事柄による人間理解の技法を学ぶ。 4. 語られたイメージによる人間理解の技法を学ぶ。
【キーワード】	投影法、客観性、イメージの言語化
【学習の課題】	投影法の理論を学ぶ。検査結果の解釈について学ぶ。
15～16 テーマ	臨床心理学的援助の基本
【学習の目標】	臨床心理学的援助の基本的態度について理解する。
【学習の内容】	心理臨床の現場における自分のあり方や考え方を振り返る視点を学ぶ。
【キーワード】	フォーカシング、スーパーヴィジョン
【学習の課題】	心理臨床活動ベースとなる自分のあり方を振り返る視点を持つ。

17～18. テーマ	ケース・マネージメント
<p>【学習の目標】 ケース・マネージメントと治療契約、治療同盟について理解する。</p> <p>【学習の内容】 治療構造と行動化について理解を深める。</p> <p>【キーワード】 治療契約、治療同盟、病態水準</p> <p>【学習の課題】 1 ケース・マネージメントについて理解し、その基本事項を習得する。</p>	
19～20. テーマ	面接過程
<p>【学習の目標】 臨床心理学的援助における面接過程に見られる様々な問題を理解する。</p> <p>【学習の内容】 1. 初回面接の見立て 2. 面接中期の展開と諸問題 3. 終結の見極め</p> <p>【キーワード】 見立て、抵抗、転移、逆転移、終結、リファー</p> <p>【学習の課題】 臨床心理面接の過程で起こる諸問題の対応について考察する。</p>	
21. テーマ	心理療法概論①
<p>【学習の目標】 心理療法について理解する。</p> <p>【学習の内容】 心理療法とはいかなる営みであるのかを概説する。心理療法各論として、心理療法を大きく4つの立場に分けて、それぞれの立場の考え方の特徴を概説する。その内の二つの立場として①精神分析的な立場、②行動主義的な立場に関して理解を深める。</p> <p>【キーワード】 心理療法、精神療法、カウンセリング、精神分析、行動主義</p> <p>【学習の課題】 心理療法という概念の地図を作る。</p>	
22. テーマ	心理療法概論②
<p>【学習の目標】 心理療法について理解を深める。</p> <p>【学習の内容】 心理療法とはいかなる営みであるのかを概説する。心理療法各論として、③人間中心的な立場、④システム論的な立場の2つに関して理解を深める。</p> <p>【キーワード】 来談者中心療法、システム論</p> <p>【学習の課題】 内外の様々な療法について理解する。</p>	
23. テーマ	心理療法各論①
<p>【学習の目標】 精神分析的な立場について理解を深める。</p> <p>【学習の内容】 精神分析的な立場の骨子を理解する。</p> <p>【キーワード】 精神分析理論、無意識</p> <p>【学習の課題】 無意識について考察を深める。</p>	
24. テーマ	心理療法各論②
<p>【学習の目標】 行動主義的な立場について理解を深める。</p> <p>【学習の内容】 行動主義的な立場の骨子を理解する。</p> <p>【キーワード】 学習理論、行動</p> <p>【学習の課題】 行動療法と認知行動療法の違いについて考察する。</p>	
25. テーマ	心理療法各論③
<p>【学習の目標】 人間中心主義的な立場について理解を深める。</p> <p>【学習の内容】 人間中心主義的な立場の骨子を理解する。</p> <p>【キーワード】 現象学、パーソン・センタード、自己一致</p> <p>【学習の課題】 理論を理解するとともに傾聴について理解を深める。</p>	
26. テーマ	心理療法各論④
<p>【学習の目標】 システム論的な立場について理解を深める。</p> <p>【学習の内容】 システム論的な立場の骨子を理解する。</p> <p>【キーワード】 システム論、家族療法</p> <p>【学習の課題】 具体的な問題解決を目指した治療的介入について学ぶ。</p>	
27～28. テーマ	(講義・演習) 連携・協働、地域援助、
<p>【学習の目標】 専門職間の連携・協働、及び地域援助について理解する。</p> <p>【学習の内容】 1. 心理支援を要する人に関わる専門職者間の連携・協働 2. 学校や産業領域、コミュニティにおける臨床心理士の仕事 3. 危機介入とPTSD 4. 社会問題への支援(子育て、ニート、高齢者、自殺等)</p> <p>【キーワード】 連携・協働、コミュニティ、緊急支援、PTSD</p> <p>【学習の課題】 1. コミュニティの中での臨床心理士の活動について理解する。 2. 昨今の社会問題に対する支援について理解する。</p>	

29～30. テーマ	(講義・演習)：法律・倫理
【学習の目標】	法律の改正を中心に臨床心理士が理解すべき法律、および職業人としての倫理についての理解を深める。
【学習の内容】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健福祉法 2. 少年法（少年院法） 3. 児童福祉法・児童虐待防止法・DV防止法 4. 臨床心理士の倫理 5. 守秘義務とインフォームド・コンセント
【キーワード】	法律の改正、倫理問題
【学習の課題】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法律の改正について理解する。 2. 臨床心理士の倫理について理解する。